

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安全・安心メール配信事業						
所管課	43	危機管理課	(総務部)						
事業の目的 携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。					宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	8	消防費		
					項	1	消防費		
					目	3	災害対策費		
細目	1	災害対策費							
根拠条例等									
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現								
H26年度事業の概要 メール配信システム使用料 402千円 事業者のシステムを利用して、登録者に対して迅速かつ確実にメール配信を行う。					財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果 携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、安全・安心メール配信システムに登録した市民に対し、災害時における避難情報等の緊急情報や気象警報、火災情報、防犯情報等を配信するとともに、CATV自主放送(うだチャン11)との連動により、多くの市民への情報伝達を図り、市民の安全・安心を確保する。 また、聴覚障害者に対して、防災情報取得の第一の手段としての活用が期待される。 なお、災害発生時の迅速な対応を行うため、市職員及び消防団員の緊急招集に活用する。					使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源		402		
					H26予算額	A	402		
					H25当初予算額	B	391		
H25現計予算額		391							
増減額	A-B	11							
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			391	391					
従事職員数【人工】			0.01	0.01					
人件費(人工×8,000千円)			80	80					
総事業費:人件費含む(千円)			471	471					
活動指標名			登録者数						
活動指標の算式			-						
活動指標の実績			1,239	1,510			単位	人	
単位当たりコスト(円)			380	312			単位	人	
事業の目標 配信する情報を整理し、素早い配信に心がけるとともに、登録者の仕分け(市職員、消防団員、一般市民)を厳格にすることで、災害発生時の参集メールや消防団への指示通信のツールとしても活用したい。(平成26年2月現在発信者数:一般920人、関係者587人 計1,507人)							備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (2)防災・防犯情報等メール配信事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	<b>避難所設備強化事業</b>				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	大規模災害等の発生に備えて、避難所の設備強化を図る。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
					細目	1	災害対策費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	災害時用簡易トイレ 避難所(小・中学校) 11箇所×2セット=22セット 避難所(小・中学校以外) 55箇所×1セット=55セット 合計 77セット、1,598千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	災害時のトイレ問題は、被災者にとって緊急かつ生命や健康にも影響する重要な課題であることを考慮し、全指定避難所へ簡易トイレを配置し、災害時の避難所における良好な生活環境を確保する。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他						1,598	
一般財源							
H26予算額	A	1,598					
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	1,598					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/				災害救助基金繰入金 1,598千円		
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績					単位	単位	
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	宇陀市民の安全と安心を確保する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (3)避難所設備強化事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>自主防災組織設立推進事業</b>				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。 このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費					
根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、平成26年度末の結成率を70%以上とすることを旨とする。 平成25年度末結成率=60%見込み (結成率=自主防災組織加入世帯/宇陀市の総世帯数)				財源の内訳 (単位:千円)		
	自主防災組織の結成は、地域で希薄となっている共助意識の高揚を図り、大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。 また、自主防災組織の結成促進は、大規模災害の発生時において公助の立ち遅れをカバーするものであり、地域の減災と災害時要援護者避難支援計画の効果的な実行は、自主防災組織の積極的な活動に期待するところが大きい。 自主防災組織訓練及び相談件数 H22年度= 51件 H23年度= 60件 H24年度= 62件 H25年度= 70件程度				分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 500 H26予算額 A 500 H25当初予算額 B 500 H25現計予算額 500 増減額 A-B		
事業の成果							
事業のコスト		平成24年度(実績)		平成25年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)		654		240			
従事職員数【人工】		0.10		0.10			
人件費(人工×8,000千円)		800		800			
総事業費:人件費含む(千円)		1,454		1,040			
活動指標名		加入率					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		53.9	単位 %	60.0	単位 %		
単位当たりコスト(円)		26,956		17,333			
事業の目標	宇陀市民の安全と安心を確保するため、自主防災組織の結成を促進すると共に消防団等との連携を強化し、災害発生時の地域の減災を目指す。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)自主防災組織設立の促進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織資機材購入補助事業				
所管課	43	危機管理課 (総務部)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	地域住民が災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子どもまで協力して安全で安心して暮らせる地域づくりの一環とする。		区分	No.	区分名		
			款	8	消防費		
			項	1	消防費		
			目	3	災害対策費		
細目	1	災害対策費					
根拠条例等	宇陀市自主防災組織資機材交付事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	自主防災組織を結成した組織に対して必要な資機材を備えさせるため、資機材の整備について「宇陀市自主防災組織資機材交付事業補助金交付要綱」に基づき一定の補助金を交付する。		財源の内訳 (単位:千円)				
	交付する額は、当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1以下の金額、又は基本額5万円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のどちらか低い額を交付する。		分担金				
事業の成果	結成された自主防災組織に必要な資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。		使用料				
			国費				
			県費				
			市債				
			その他				
			一般財源	1,500			
			H26予算額	A	1,500		
			H25当初予算額	B	1,000		
H25現計予算額		1,700					
増減額	A-B	500					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/	1,700					
従事職員数【人工】		0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800					
総事業費:人件費含む(千円)		2,500					
活動指標名	申請率						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	単位	15.85				単位	%
単位当たりコスト(円)	157,729						
事業の目標	宇陀市民の安全と安心を確保する。		<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (5)自主防災組織資機材購入補助事業				